

第5・6学年 道徳科学習指導案

日 時 令和3年11月5日(金) 5校時
児 童 5年 男子1名 女子3名 計4名
6年 男子1名 女子1名 計2名
指導者 戸館 美智子

1 主題名 親身な対応 【B-7 親切, 思いやり】

2 教材名 「くずれ落ちただんボール箱」 (学研 新・みんなの道徳5年 P132~135)

3 主題設定の理由

(1) 指導内容について

本指導内容は、よりよい人間関係を築く上で求められる基本的姿勢として、相手に対する思いやりの心をもち親切にすることに関するものである。

自分のことばかり考えたり、自分の思だけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできない。互いが相手に対して思いやりの心をもって接するようにすることが不可欠である。思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。そのためには、相手の存在を受け入れ、相手のよさを見出そうとする姿勢が求められる。児童は成長するにつれて、自他を客観的に捉えられるようになってくるため、相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて考えられるようになる。また、しだいに地域社会などへ活動範囲が広がり、多様な人々と接する機会が多くなっていく。

指導に当たっては、学校の人々や友達など様々な人と直接的に多様な関わり合いをもてるようにすることが求められる。その上で、相手の立場を考えたり、相手の気持ちを思いやったりすることを通して、思いやりや親切な行為の意義を実感できる機会をつくり、その大切さについて深く考えられるようにしていくことが重要である。

(2) 児童について

本学級の児童は、男女分け隔てなく遊ぶ仲の良い集団である。同級生だけでなく低学年と遊ぶことも多い。「親切, 思いやり」に関しては、資料「落とし物」の学習を通して、どのような行動を取ることが相手のためになることを考え、相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて考えて、親切にしたいという気持ちが高まった。そのため、落とし物があるとすぐに気付き、声をかけ届ける親切な行為も多くなった。しかし、自分と関わりの少ない人や身近でない人が困っていることが分かっているにもかかわらず声を掛けられない児童や相手のお礼の言葉や見返りを望んでいる児童もいる。

そこで本時では、誰に対しても思いやりの心をもって声をかけ、相手の立場に立って親切にするときの大切さについて考えさせたい。自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかを考えさせるとともに、人間関係の深さの違いや自分の損得で態度を変えるのではなく、相手の立場に立ち、気持ちを思いやることの大切さを実感させたい。

(3) 教材の特質について

本教材は、困っているおばあさんに親切にした行為を通して、ねらいに迫るものである。

崩れた段ボール箱をおばあさんに代わって「わたし」と友子さんが片付けるが、店員に叱られる。おばあさんにお礼を言われるが、複雑な気持ちが残る。しかし、3学期の始業式で、校長先生から店員のお詫びと感謝の気持ちを紹介される内容である。

店員に誤解されたことなどで、すっきりしない気持ちを抱えていたが、校長先生から手紙を紹介された「わたし」やその周辺の状況について考えることで、親切について様々な視点から多面的に考えられる教材である。

4 本時の指導

(1) ねらい

相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心をもって接していこうとする心情を育てる。

(2) ねらいに迫る手立て

① 自己を見つめる場の工夫

ア 事前に親切に関するアンケートをとり、導入時に提示することで普段の行動を振り返えらせ、課題意識をもたせる。

② 物事を多面的・多角的に考える場の工夫

ア 多様な考えに触れて自分の考えが深まるように、3人グループでの対話を行う。

イ 「親切にしてよかった」のか「しなければよかった」のかグループ内で話し合う際、自分の考えを明確にするために2色の付箋を使い、「わたし」の行為を自分事として考えさせる。

③ 自己の生き方についての考えを深める場の工夫

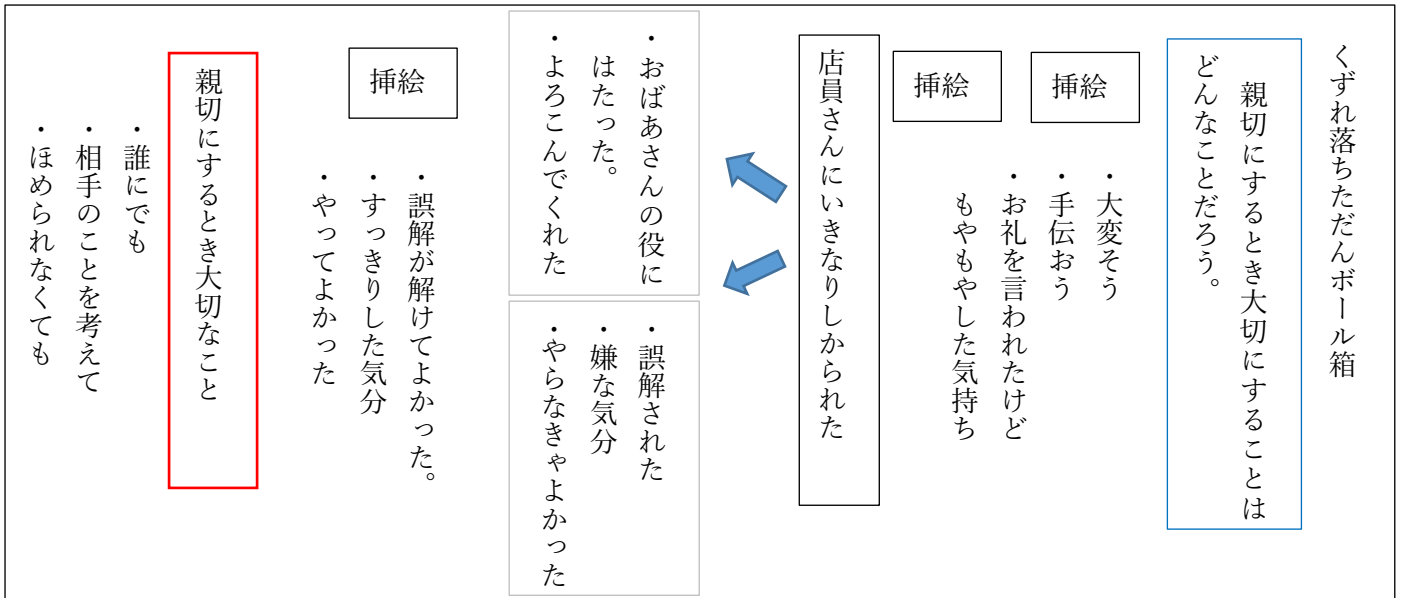
ア 学習活動時の対話で出された発言などを振り返り、「親切にするときに大切なこと」について学習プリントに書かせる。

(3) 展開

段階	学習内容 (○発問 ・児童の反応例)	・指導上の留意点 ※研究とのかかわり ☆評価
導入 5分	<p>1. 「親切」について話し合う。</p> <p>○どんなときに親切にしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っている人がいた時。 ・助けてあげたいと思った時。 <p>○親切にしてもらった時、どんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしかった。 ・ほっとした。 <p>2. 学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">親切にするとき大切なことはどんなことだろう。</div>	<p>・事前に行ったアンケートを提示し、親切な行為の具体的な場面を想起させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;">※ねらいに迫る手立て①ア</div>
展開 3分 3分	<p>3. 教材文を読み、「わたし」の行為を考え、話し合う。</p> <p>○どんな思いから、おばあさんを手伝ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんが困っている。大変そう。 ・男の子が一人で行っちゃうと迷子になりそう。 ・できることはないかな。 	<p>・おばあさんの困っている様子から、勇気を出して声をかけた二人の行為に気付かせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;">※ねらいに迫る手立て②ア</div> <p>・助けてもらった時のおばあさんの気持ちにも触れ、板書に残しておく。</p>

	<p>○店員に誤解されたまま、段ボール箱を片付けていたとき、どんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちがやったわけじゃないのに。 ・せっかく親切にしてやったのに。 ・急にきて、分からずに叱るなんてひどい。 ・手伝わなきゃよかった。 <p>◎店員にしかられてもどうして片付けを続けたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんが困っていたから。 ・おばあさんのために。 <p>○校長先生の話聞き、どんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱりやってよかった。 ・誤解が解けてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・店員に誤解されたまま、最後まで片付けた思いに寄り添わせる。 ・おばあさんにお礼を言われても、後味の悪いすっきりしない嫌な気持ちになっていることを押さえる。 ・2色の付箋を使って、色の量で「わたし」の気持ちを表現させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">※ねらいに迫る手立て②イ</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「親切にしてよかった」のか「しなければよかった」のか、「親切」についてもう一度考えさせる。 ・もやもやした気持ちのままだったら、助けてもらったおばあさんの気持ちに立ち返る。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">☆「わたし」の行為を自分事として考え、親切について多面的・多角的に捉えていたか（発言・観察）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の後半（PI34LI4）を読み、後日談として、親切な行為へのお礼を紹介する。
<p>終末7分</p>	<p>4. 学習を振り返る</p> <p>○親切にするときに大切なことについて考えましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><5年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っている人がいたら、誰にでも親切にする。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お礼を言われなくても自分がやってよかったと思えるような親切なことをする。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いや全体での話し合いをもとに、学習の振り返りをし、ワークシートに自分の考えを書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">※ねらいに迫る手立て③ア</div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">☆相手のことを考えて、親切にする事の大切さについて考えている。（発言・記述）</div>

(4) 板書計画



(5) ワークシート

道徳ノート () 月 () 日

5年「くずれ落ちただんボール箱」名前

親切にするときに大切なことは
どんなことだろう。

6年 自分がほめられるために親切にするのではなく、相手に喜んでもらえるような親切なことをしたい。

5年 相手のことを考えて、困っている人がいたら、声をかけて親切にしていきたい。ほめられなくても親切にすることが大切。

6年 知らない人でも困っている人がいたら、声をかける。お礼を言われなくても、親切にしたい。

5年 困っている人には、進んで声をかけて、親切にしたい。

〈へふりかえり〉

ポイント

- ① 今日の学習で考えたこと・分かったこと
- ② 友達の考えて良かったこと・学んだこと
- ③ これからの生活に活かしたいこと

ふせんを使って話そう (こころのつながり、どちらがよい?)

親切にしてよかった (ピンク)、しなければよかった (ブルー)